

事務事業名		菅谷たたら山内保存修理事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	山崎 修
	施策名	(32)地域文化の振興		担当者名	志賀 崇	電話番号	0854-40-1104
	目的	対 象	市民	意 図	文化芸術を普及・振興し、地域文化(地域の伝統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。		
	基本事業名	(096)地域文化の保存継承		予算科目	会計 款 大 事業 大 事業名 0 1 5 0 0 1 項 目 中 事業 中 事業名 2 5 4 5 0 6	文化財施設整備事業 菅谷たたら山内保存修理事業	
目的	対 象	市民	意 図	地域文化を次世代に伝える。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 年度 ~ 33 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
菅谷たたら山内保存修理工事	
対象施設	
高 殿	入母屋造こけら葺1棟 334.9㎡
元小屋	切妻造こけら葺1棟 293.8㎡
米 倉	切妻造こけら葺1棟 58.1㎡
山内祠	金屋子祠 元山祠 牛頭天王祠 愛宕秋葉金刀比羅祠 拝殿 5棟
三軒長屋	切妻造こけら葺 1棟
菅谷たたら山内保存修理工事設計業務 菅谷たたら山内保存修理工事監理業務	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)				
	①28年度分工事監理業務委託 ②28年度分保存修理工事請負 ③28年度分工事管理協議 ④28年度分実施設計業務委託 ⑤28年度分実施設計協議	①29年度分工事監理業務委託 ②29年度分保存修理工事請負 ③29年度分工事管理協議 ④29年度分実施設計業務委託 ⑤29年度分実施設計協議				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 委託契約件数	件	1	1	5	2
	イ 工事請負契約件数	件	2	1	4	2
	ウ 審議会	回	3	3	0	4
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	菅谷たたら山内 各施設	ア 施工対象施設	棟	7	1	2	2
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	保存修理工事の実施	ア 基本設計進捗率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
イ 実施設計進捗率		%	45.0	60.0	80.0	90.0	
ウ 修理工事進捗率		%	45.0	55.0	60.0	73.0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
報償金	55千円	事業費	国庫支出金	千円	42,477	25,000	39,250	52,000
普通旅費	121千円		県支出金	千円	14,159	8,333	13,083	17,332
消耗品費	38千円		地方債	千円	28,300	16,600	40,200	20,500
委託料	10,901千円		その他	千円				
工事請負費	81,518千円		一般財源	千円	19	78	100	49
※米倉保存修理工事については、一部、翌年度へ繰越		事業費計 (A)		千円	84,955	50,011	92,633	89,881
		人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
			延べ業務時間	時間	400	400	400	
			人件費計 (B)	千円	1,555	1,566	1,587	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	86,510	51,577	94,220	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
菅谷たたら山内各施設は腐食老朽化が著しく早急な保存修理が望まれていた。平成25年3月に三軒長屋が重要文化財の追加指定となった。平成26年度に、高殿及び祭祀施設の保存修理工事完了。平成28年4月、「菅谷たたら山内」が日本遺産の構成文化財となった。	国指定文化財の保存修理として、計画どおり適切な調査、設計、施工を行っている。	山内の保存修理を契機に山内及び周辺の自然環境、景観を含めた活用を図り、地域及び雲南市の活性化につなげていきたい。

事務事業名	菅谷たたら山内保存修理事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	山内の整備活用について、審議会の意見を計画に反映させ有効な復元と活用を図る。																							
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	国庫補助事業であり廃止・休止はできない。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																									
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		類似施設がない。																						
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																									
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		補助金交付要綱及び積算基準に基づき、設計、積算を行っているので、成果を下げずに、事業費を下げることは困難である。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																									
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		工程管理、工事打合せは省略できない。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		山内は公開しているので、市内・市外において受益者が特定されることはない。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			平成26年度は、高殿・祭祀施設の保存修理工事が完了した。引き続き、元小屋・米倉の保存修理工事を継続中である。																							
国及び県への働きかけを強め、早期に保存修理工事が完了することを目指す。			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																										

3 今後の方向性【PLAN】